

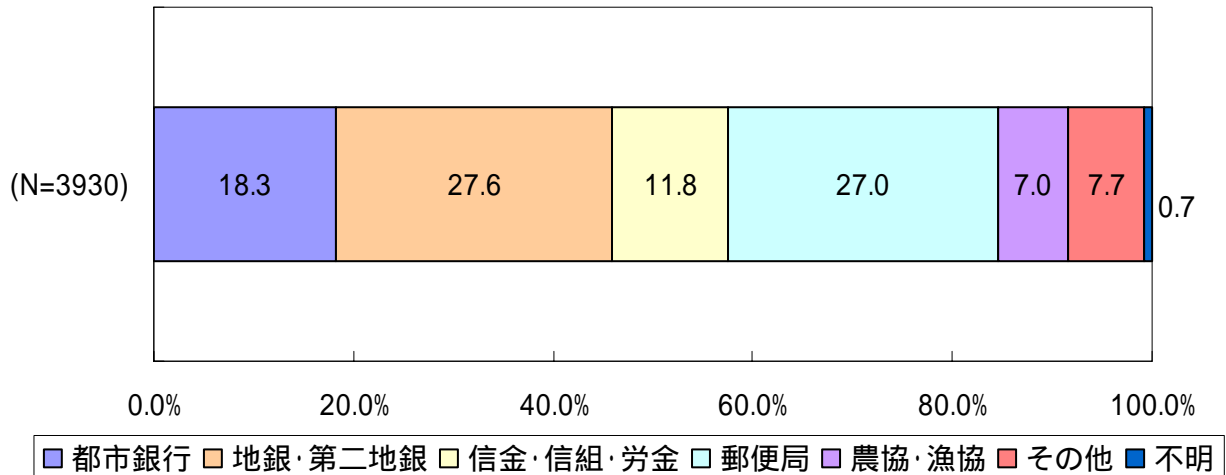
## 貯蓄額が最も多い金融機関

### 1. 貯蓄額が最も多い金融機関

問5 お宅で利用している金融機関のうち、貯蓄額が最も多い金融機関はどれですか。( は1つ)  
 なお、例えば、複数の都市銀行を利用している場合は、別々の金融機関としてお考えください。  
 有価証券(株式等)については、現在評価額でお考えください。また、生命保険などについては、これまでの積立額(掛け捨て分を除く)でお考えください。

貯蓄額が最も多い金融機関としては、全世帯では、「地銀・第二地銀」(27.6%)、「郵便局」(27.0%)、「都市銀行」(18.3%)、「信金・信組・労金」(11.8%)、「農協・漁協」(7.0%)の順となっている。

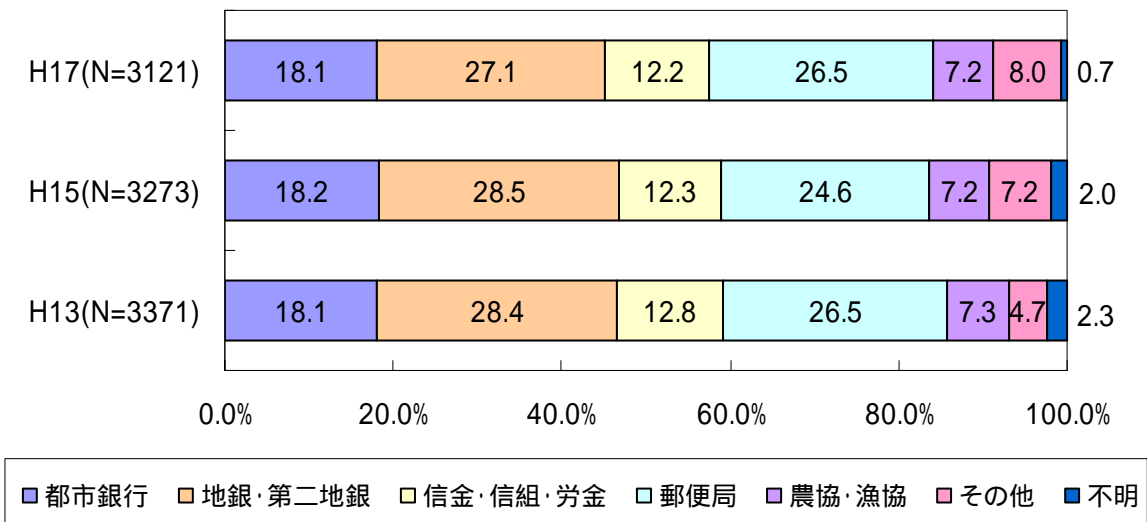
#### 貯蓄額が最も多い金融機関 < 全世帯 >



#### < 時系列比較 > (2人以上世帯)

2人以上世帯について、15年度調査、13年度調査と比較すると、「地銀・第二地銀」の割合が減少している。

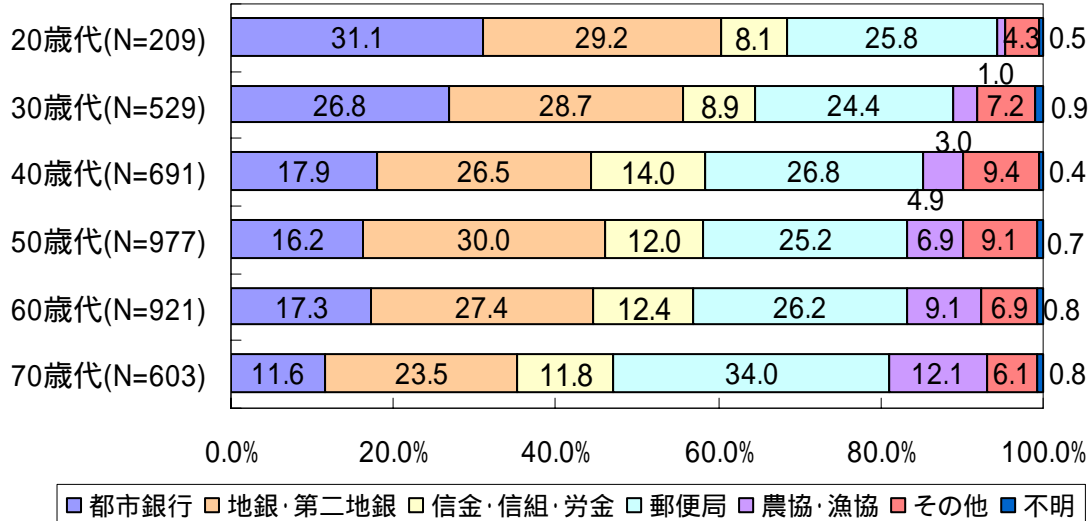
#### 時系列比較 貯蓄額が最も多い金融機関 < 2人以上世帯 >



< 世帯主年齢別 > (全世帯)

全世帯について、世帯主の年齢別にみると、年代が若いほど「都市銀行」の割合が高く、「農協・漁協」の割合が低くなる傾向がみられる。

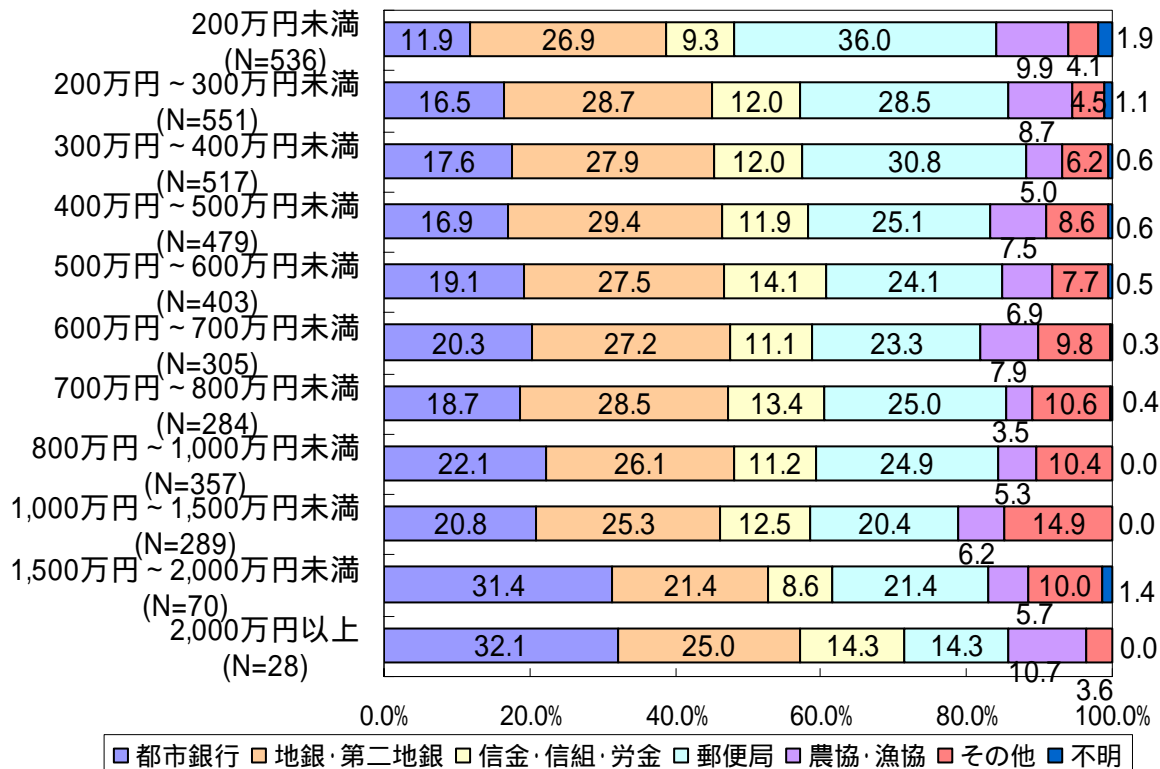
**世帯主年齢別 貯蓄額が最も多い金融機関 < 全世帯 >**



< 世帯年収別 > (全世帯)

全世帯について、世帯年収別にみると、「200万円未満」の世帯では、「郵便局」(36.0%)の割合が最も高くなっている。また、「1,500万円以上」の世帯では、「都市銀行」の割合が最も高くなっている。

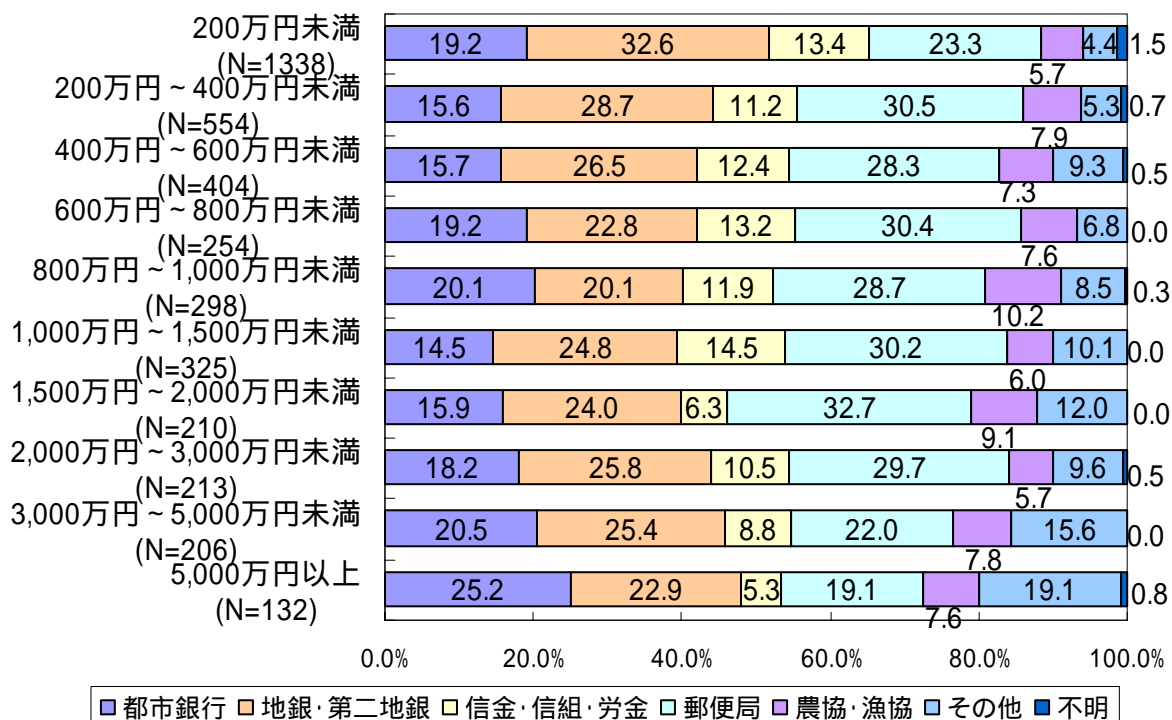
**世帯年収別 貯蓄額が最も多い金融機関 < 全世帯 >**



<貯蓄総額別> (全世帯)

全世帯について、貯蓄総額別にみると、貯蓄総額が多い世帯ほどその他(「地銀・第二地銀」「郵便局」「都市銀行」「信金・信組・労金」「農協・漁協」)の金融機関を選択した割合が高くなっており、証券や信託商品などに資産運用手段が多様化しているためと推測される。

貯蓄総額別 貯蓄額が最も多い金融機関<全世帯>

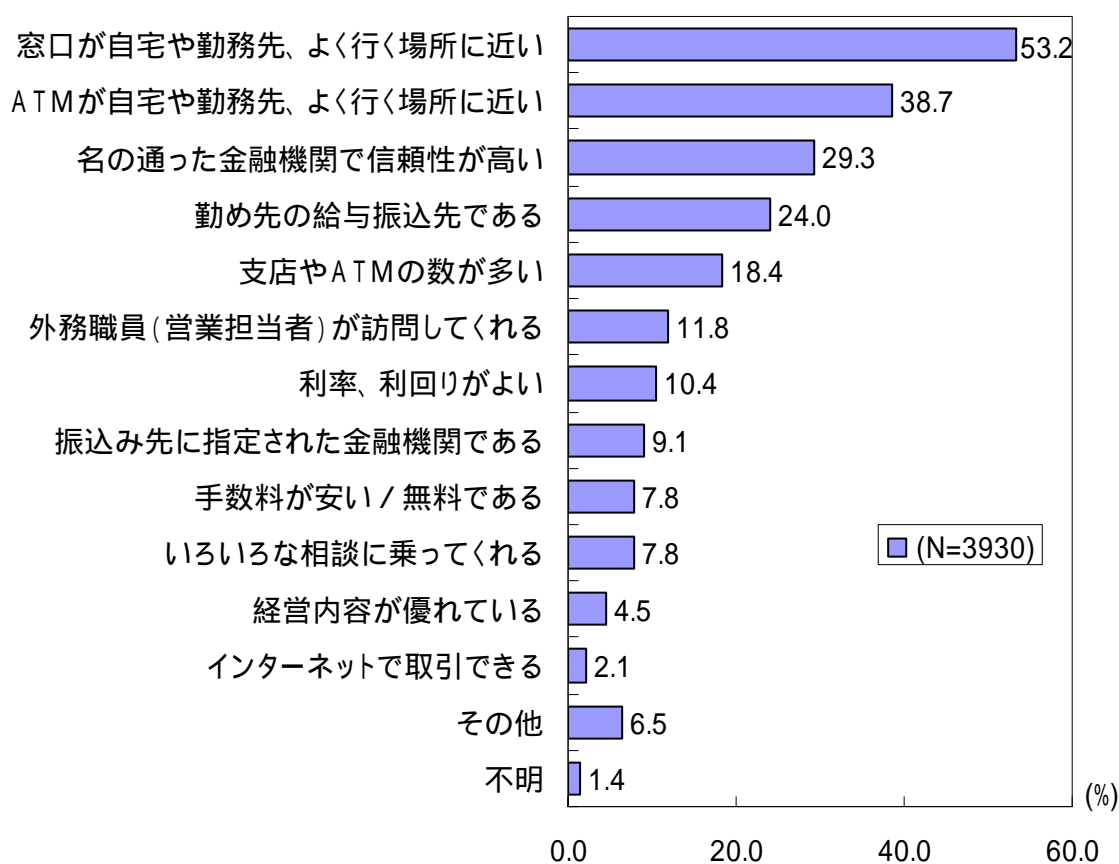


## 2. 貯蓄額が最も多い金融機関を選んだ理由（複数回答）

問5付問2 その金融機関で最も多く貯蓄をしている理由について、あてはまるものをすべて選んでください。  
(はいくつでも)  
また、そのうち最も重視している理由について、に番号を記入してください。

貯蓄額が最も多い金融機関がある世帯(n=3,930)について、その金融機関を選んだ理由としては、「店舗窓口が自宅や勤務先、よく行く場所に近い」(53.2%)が際立って高く、以下、「ATMが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」(38.7%)、「名の通った金融機関で信頼性が高い」(29.3%)の順となっている。

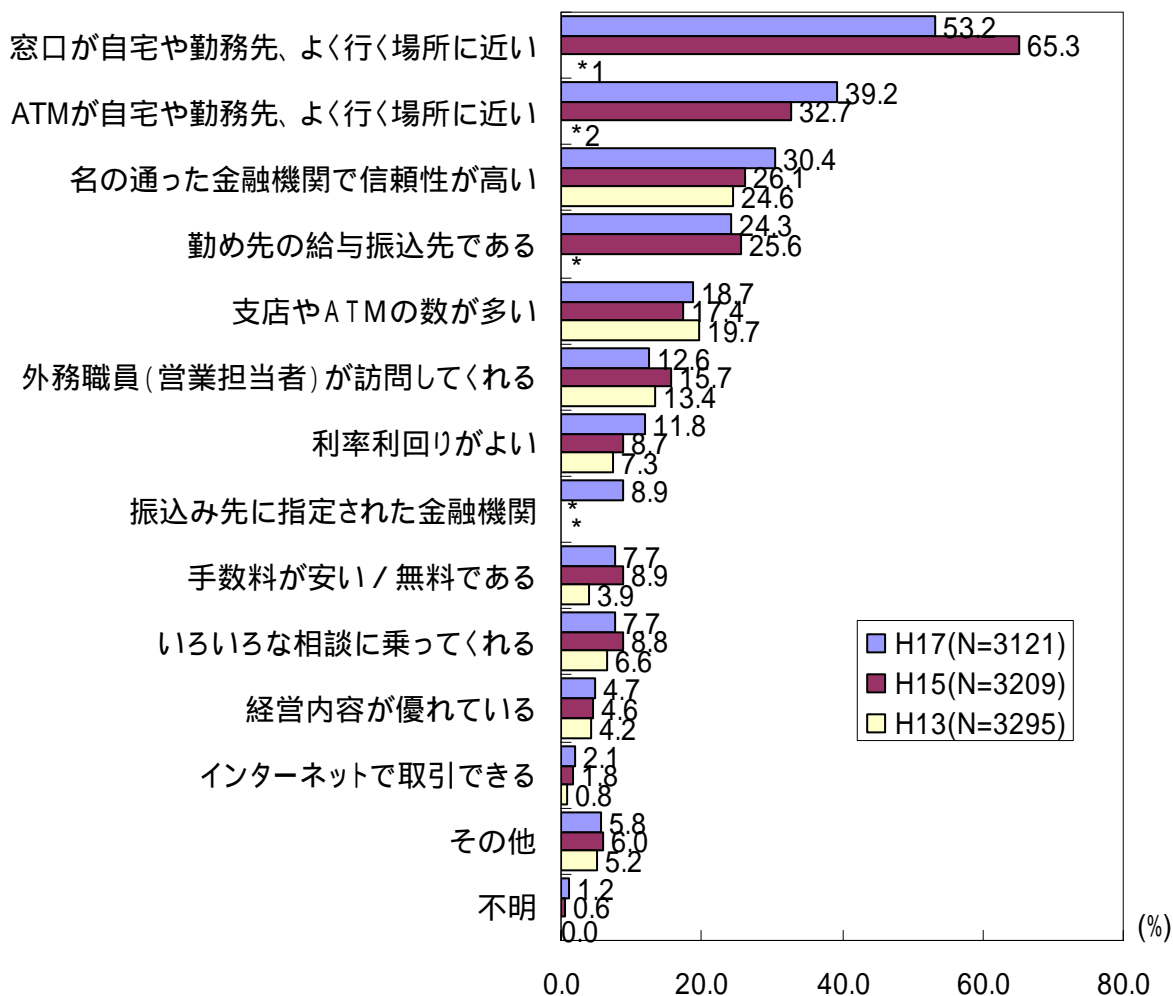
### 貯蓄額が最も多い金融機関を選んだ理由(複数回答) <全世帯>



## <時系列比較> (2人以上世帯)

2人以上世帯について、「窓口が自宅や勤務先、よく行く場所に近い」が他の理由を引き離して最も高くなっていることに変わりはないが、15年度調査と比較すると、12.1ポイント回答した割合は減少している。一方、「ATMが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」は15年度調査より6.5ポイント上昇し、「名の通った金融機関で信頼性が高い」も4.3ポイント上昇している。

### 時系列比較 貯蓄額が最も多い金融機関を選んだ理由 (複数回答) <2人以上世帯>



#### 【グラフ中の注意】

- 1、2 13年度調査については、選択肢が「窓口が自宅や勤務先、よく行く場所に近い」及び「ATMが自宅や勤務先、よく行く場所に近い」ではなく、「自宅や勤務先、よく行く場所に近いから」という選択肢のため割愛した。

グラフ中の「\*」はその年の調査において、調査項目にない項目である。